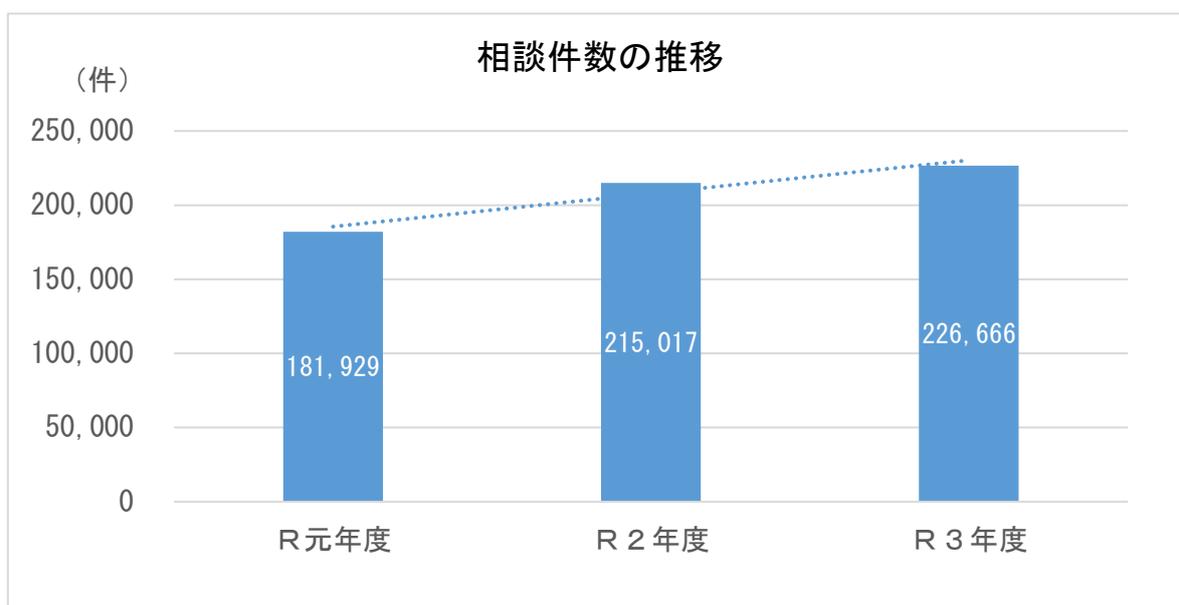


令和 4 年 8 月 2 日
高齡施策担当部高齡者支援課

令和3年度 練馬区地域包括支援センター事業実績について（報告）

1 相談件数 ※延べ件数

令和3年度の相談件数は、地域包括支援センター（25 か所）全体で 226,666 件であった。なお、令和2年度より 11,649 件増加している。

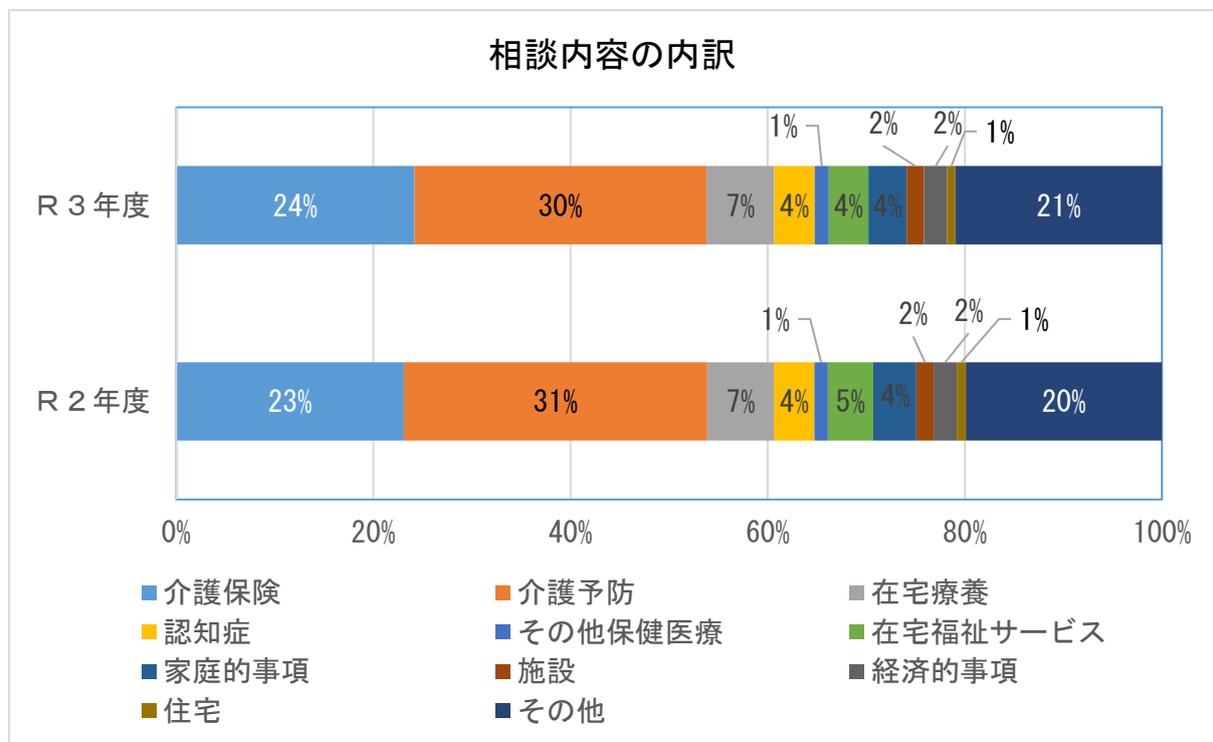


センター別の相談件数は下表のとおりである。

練馬圏域	第2育秀苑	6,729	石神井圏域	練馬ゆめの木	5,458
	桜台	6,932		高野台	12,020
	豊玉	7,127		石神井	13,055
	練馬	5,727		フローラ石神井公園	8,080
	練馬区役所	9,652		第二光陽苑	11,072
	中村橋	13,730		関町	13,670
	北町	6,433		上石神井	12,057
光が丘圏域	北町はるのひ	7,282	大泉圏域	やすらぎミラージュ	13,485
	田柄	7,591		大泉北	10,585
	練馬高松園	4,614		大泉学園	9,730
	光が丘	11,941		南大泉	6,260
	光が丘南	4,839		大泉	11,431
	第3育秀苑	7,166		合計	226,666

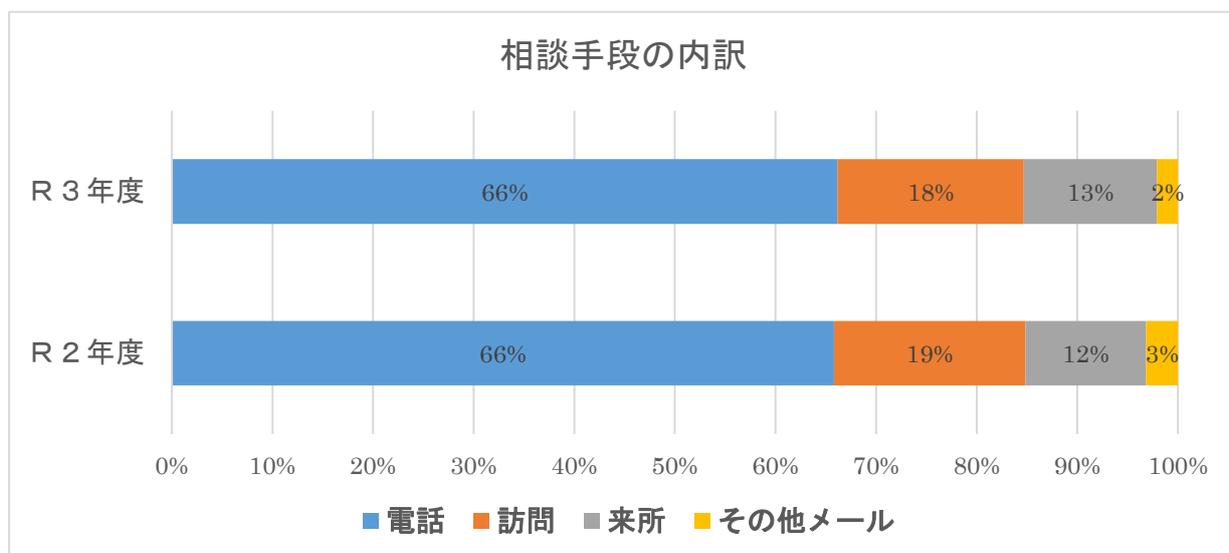
2 相談内容の内訳

相談内容としては、「介護保険」および「介護予防」に関する相談が多く、合計すると約5割となっている。



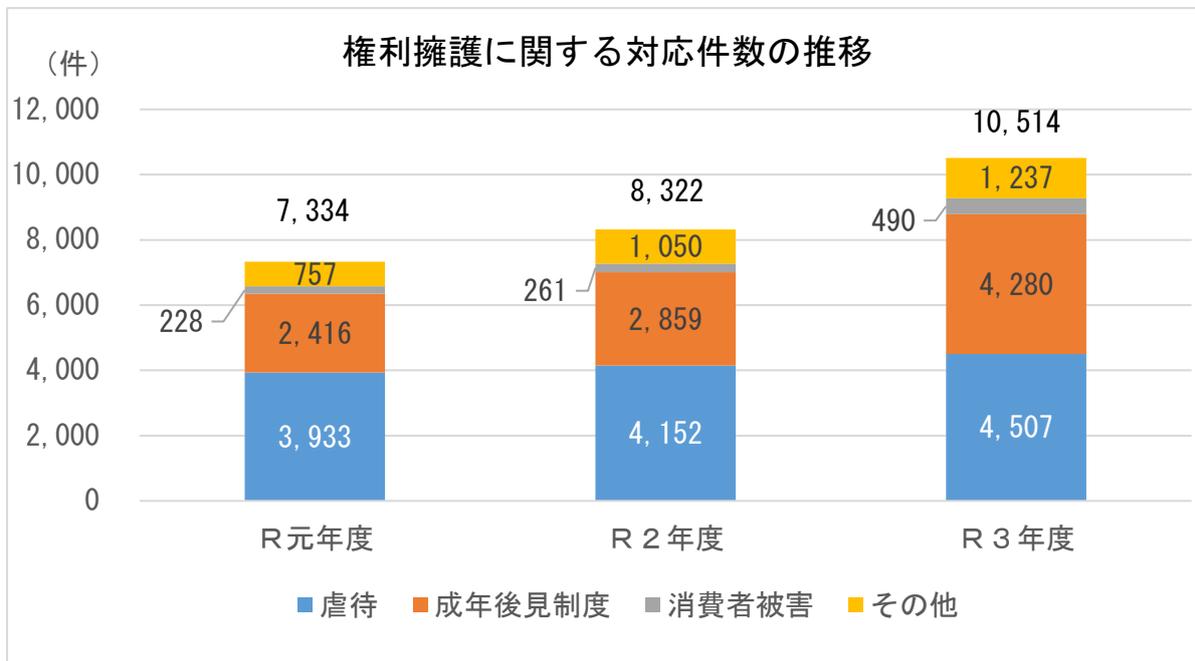
3 相談手段の内訳

相談手段は、「電話」による相談が最も多く、約7割を占めている。



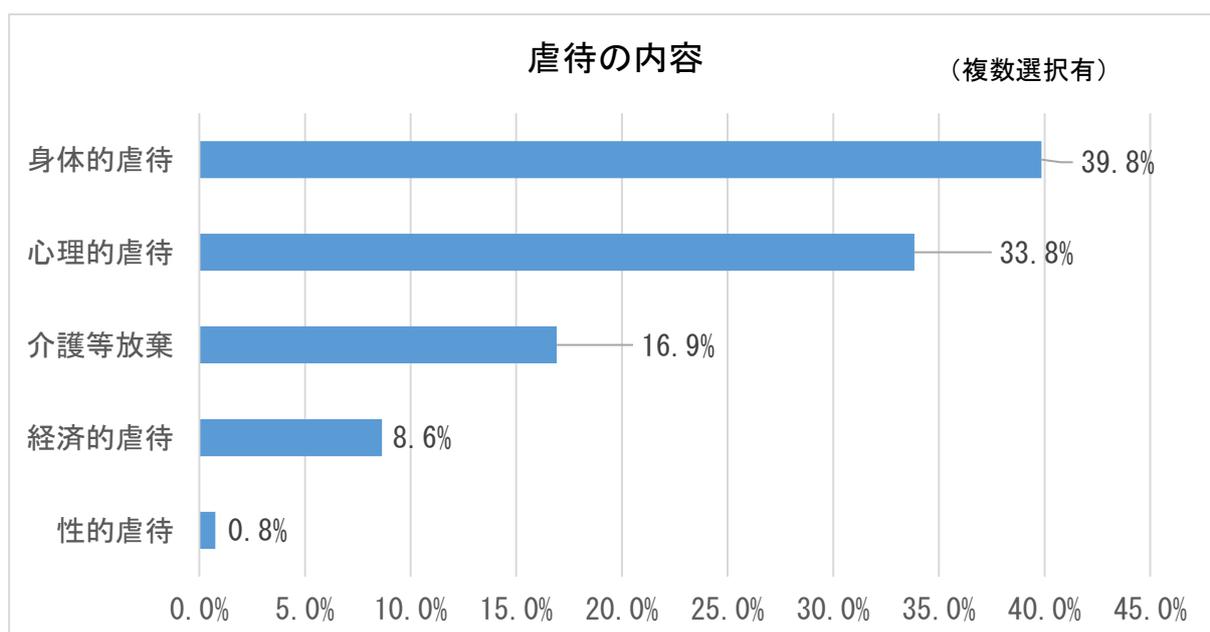
4 権利擁護関係の実績 ※延べ件数

令和3年度の権利擁護関係の対応件数は10,514件で、昨年度から約1.3倍に増加している。内訳を見ると、「高齢者虐待」の対応件数が最も多く4,507件で、次に成年後見制度の対応件数が多い。



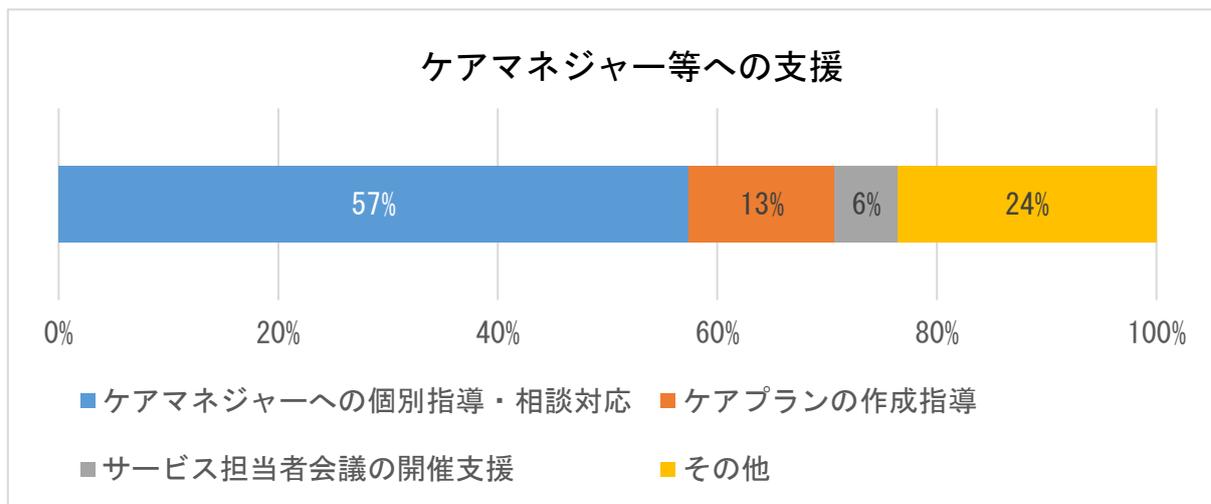
【参考】高齢者虐待対応の内訳

高齢者虐待対応は、総合福祉事務所と地域包括支援センターが連携して対応している。令和3年度の区またはセンターへの虐待の相談・通報件数（実数）は、197件であった。その内、自宅への訪問調査などにより、虐待が認められたものは170件であった。



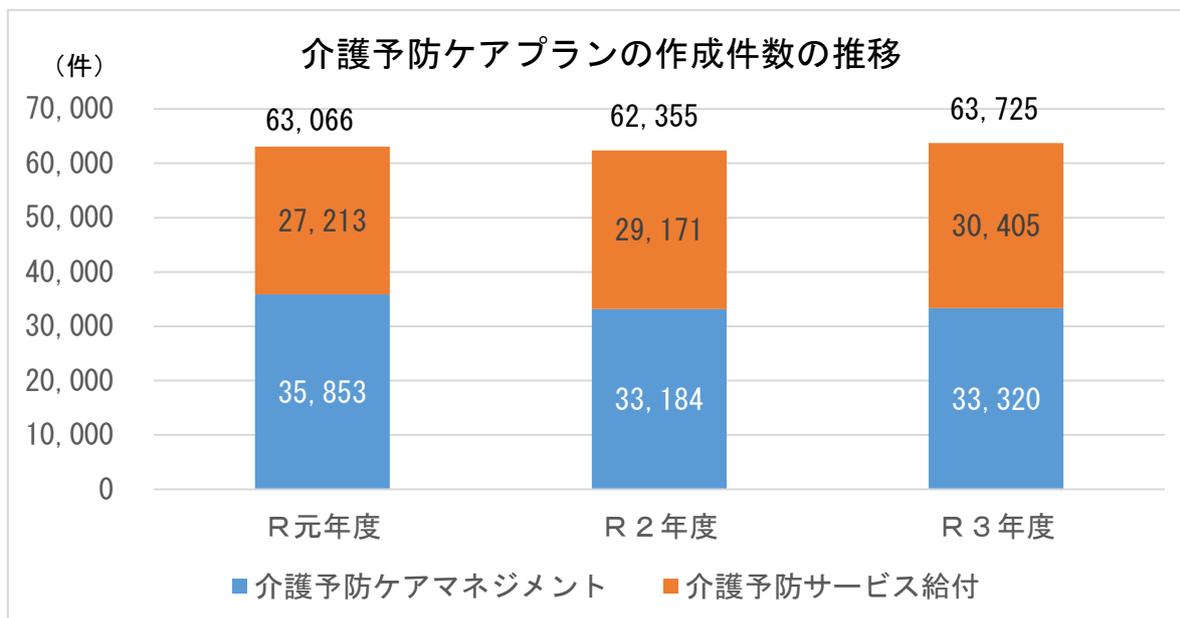
5 ケアマネジャー等への支援の実績

令和3年度のケアマネジャー等への支援の件数は9,085件であった。「ケアマネジャー等への個別指導・相談対応」が最も多く、全体の約半数を占めている。



6 介護予防ケアプランの作成件数の推移 ※延べ件数

令和3年度の介護予防ケアプラン作成件数は63,725件で、内訳は、「介護予防ケアマネジメント」が33,320件、「介護予防サービス給付」が30,405件であった。



※ 介護予防ケアマネジメント

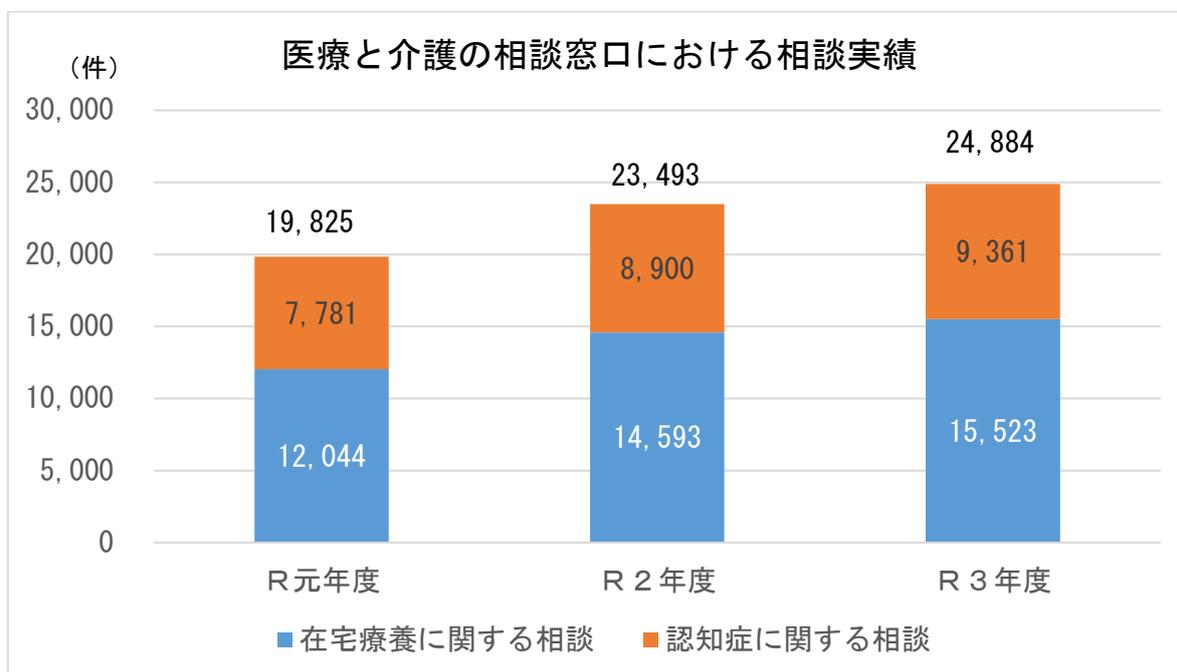
要支援1・2の認定、または健康長寿チェックシートにより事業対象者に該当した高齢者等が、練馬区の介護予防・生活支援サービス（訪問サービス、通所サービス等）を利用する際に作成するサービス計画（ケアプラン）

※ 介護予防サービス給付

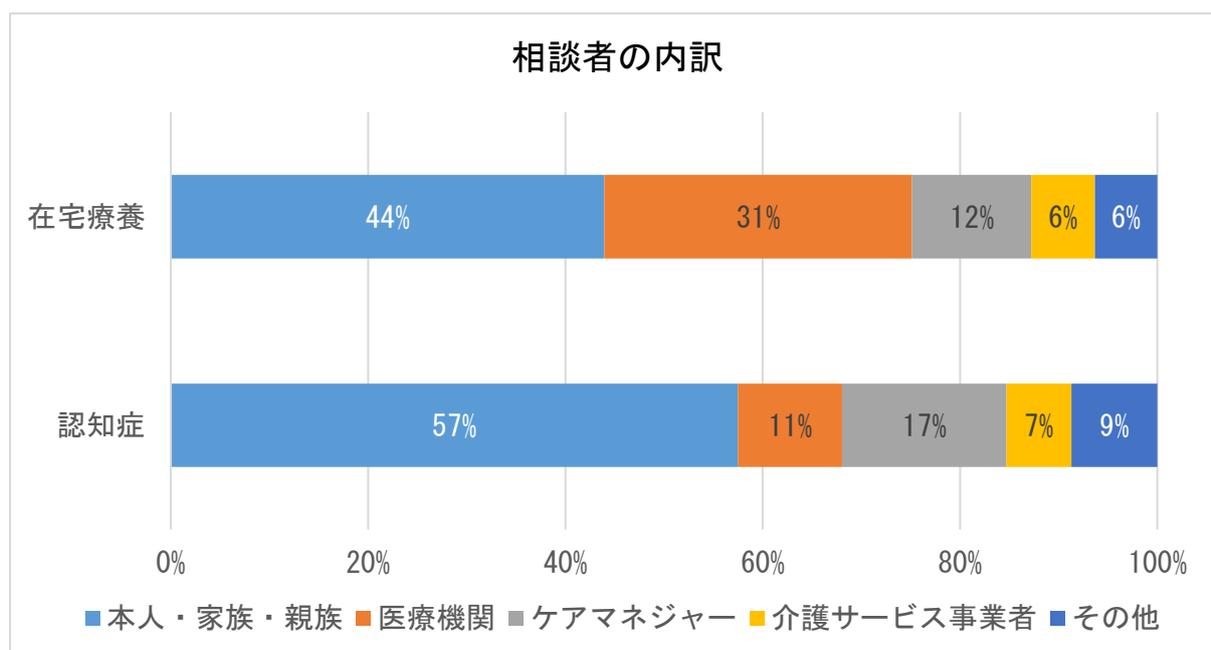
要支援1・2の認定を受けた高齢者等が、主に介護予防給付のサービス（介護予防福祉用具貸与、ショートステイ等）を利用する際に作成するサービス計画（ケアプラン）

7 医療と介護の相談窓口における相談実績 ※延べ件数

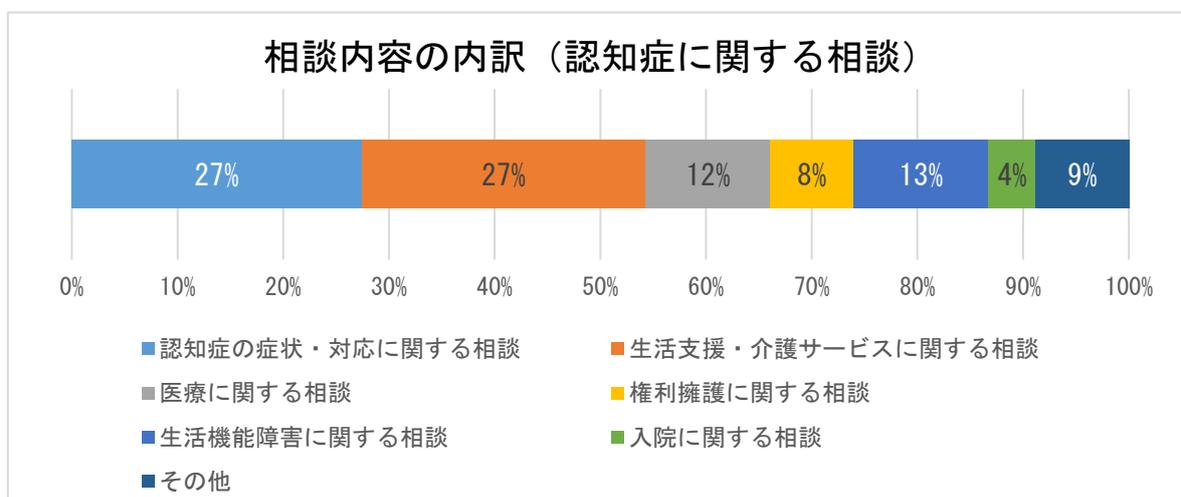
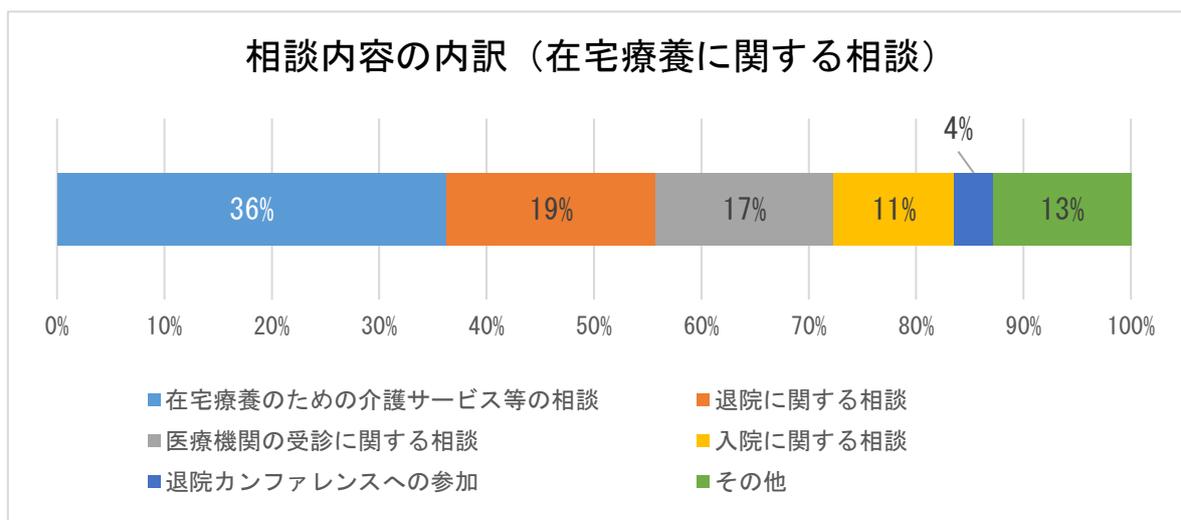
令和3年度の相談件数は、24,884件であった。「在宅療養に関する相談」・「認知症に関する相談」とも増加している。



相談者は、在宅療養、認知症に関する相談ともに、「本人・家族・親族」からの相談が最も多い。次に多いのは、在宅療養に関する相談では「医療機関」、認知症に関する相談では「ケアマネジャー」であった。



相談内容は、在宅療養に関する相談では、「在宅療養のための介護サービス等の相談」が、認知症に関する相談では、「認知症の症状・対応に関する相談」が最も多かった。



8 ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業の相談実績

平成30年度より全ての地域包括支援センターで開始したひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯への訪問支援事業において、令和3年度では、訪問対象者の98%に当たる10,876人に訪問した。延訪問数は15,349回であった。

